

奈良市まちづくり市民会議（第1回）概要記録

■日時：平成21年10月9日（金）午後7時～午後9時30分

■場所：奈良市役所 北棟6階 第22会議室

■プログラム：

1. 市長あいさつ
2. 奈良市第4次総合計画の策定について
3. 奈良市まちづくり市民会議の役割について
4. 会議のルールについて
5. 奈良市の現況について
6. 今後の会議の進め方について

■会議資料：

- ①奈良市まちづくり市民会議 委員名簿
- ②奈良市まちづくり市民会議設置要項
- ③奈良市第4次総合計画の策定について
- ④奈良市の現況（中核市41都市比較）
- ⑤市長マニフェスト[参考資料]
- ⑥奈良市第3次総合計画【後期基本計画】概要版[参考資料]
- ⑦奈良市の現況について（冊子）[参考資料]
- ⑧奈良市まちづくり市民会議（第1回）市の現況についての質問票
- ⑨奈良市の「魅力」と「悩み」は何ですか？

※①～⑦については受付時配布、⑧～⑨については会議中に配布。

■出席者：

【市民公募委員】48名（欠席4名）

赤尾 隆、アダルシュ シャルマ、阿部 智子、植田 正博、上野 登統、榎本 正範、岡本 胤継、
奥村 麻希子、北 良夫、北浦 由香、木村 宥子、熊野 磯一、小島 道子、小西 完治、
笹部 和男、佐藤 正幸、サマン ペレラ、澤崎 嘉造、四反田 喬典、新堂 順規、高松 典正、
田北 ますみ、武村 俊宏、多田 充朗、田中 浩、田中 保夫、谷 幸三、反田 博俊、
友田 達郎、中川 徹、中西 輝、橋本 光男、長谷川 庸司、畑中 忠司、濱 朝子、濱 惠介、
春田 稔、本間 香貴、松森 重博、宮本 郁江、村田 勝彦、元島 満義、森口 哲也、
山本 素世、山本 善徳、吉住 秀、吉田 俊夫、渡邊 新一

【事務局】7名 { 奈良市長 仲川 げん、企画部長 森本 恭平、
企画政策課 課長 吉村 武富、主幹 奥田 喜司、主任 木村 和弘、
引野 あずみ、山岸 公彦

【ファシリテーター】6名 { 山崎 亮、西上 ありさ、醍醐 孝典[studio-L]
六本木 晃夫、岡田 実成、桐山 法子[ランドブレイン株式会社]

■傍聴者：1名

■会議の概要：

会議開催にあたって

司会（企画政策課 引野）より説明。

- 委員の出欠について：開催時点では4名から欠席の連絡を受けている。
- 委員の委嘱：時間の都合により委嘱状は受付時に配布。
- 会議の公開と傍聴：会議は原則として公開。
傍聴は原則として許可。（ただし傍聴者の発言は認めない。）
- 会議録の公開：会議の概要を公開。
- 委員名簿の公開：委員名簿（氏名及び市民公募委員であることを記載）は公開。
- 写真撮影：会議の様子を撮影、ホームページに公開することあり。
⇒委員名簿の公開と写真撮影については、委員による了承を得た。

1. 市長あいさつ

仲川市長よりあいさつ。

【あいさつの概要】

- ・まちづくり市民会議は、当初市民公募30名を予定していたが、非常に多くの方からご応募いただき、52人で構成されることとなったこと、非常に嬉しく思っている。まずは、参加していただいた方に厚く御礼申し上げたい。
- ・8回にわたって、事務局（企画部企画政策課）、ファシリテーター等の応援を得ながら、あくまでも委員の皆様が中心となって議論を進めていく。
- ・3つお願いをしたい。
 - ① 既存概念をとりはらった、自由に活発な議論をしてほしい。
 - ② 総合計画は10年という長期を見据えた計画であるため、10年後の家族の姿、まちの姿を思い描きながら、長期的な視点で考えていただきたい。
 - ③ 自ら住んでいる地域や関心のあるテーマ、深い知識をもつテーマがあるとは思いますが、総合計画は全分野を包括して、全市を見渡してつくられる計画であるため、鳥瞰的な、大きな視点で考えていただきたい。
- ・わからないことや、必要なデータ・資料があれば、事務局に問い合わせしてほしい。
- ・限られた回数の中なかで、より深い議論をすることができるよう、この52名が良い仲間となり、議論できるような場をつくってほしい。
- ・現在、日常生活を過ごすうえでの不満はあると思うが、将来に視点を向け、現在の問題点を改善するための取り組みを、前向きに、建設的に考えてほしい。
- ・総合計画策定後は、行政、市民が協働して計画を実現していく必要がある。実現の段階においても、積極的に参加してほしい。

2. 奈良市総合計画の策定について

3. 奈良市まちづくり市民会議の役割について

○企画政策課 奥田主幹より、資料「奈良市まちづくり市民会議設置要項」「奈良市第4次総合計画の策定について」を説明。

「2. 奈良市総合計画の策定について」「3. 奈良市まちづくり市民会議の役割について」は関連する内容のため、一括して説明。

【説明の概要】

- ・「奈良市まちづくり市民会議設置要項」第1条では、市民会議の設置目的、第2条では市民会議で具体的にすることを位置づけている。
- ・総合計画とは、市政運営の根幹となる計画で、まちづくりの目標と、それを達成するための基本方針をしめすものである。
総合計画は、「基本構想」「基本計画」「実施計画」の3層構造になっている。
「基本構想」とは、各種の具体的な計画の基本となるべきもので、その市町村が目指すべき将来の都市像や、目標達成のための施策の体系などを定める。「基本構想」を受けて、「基本計画」「実施計画」がつくられる。
なお「基本構想」は、地方自治法により、市議会の議決を得なければならない。
- ・総合計画は、従来は、行政の計画であり、総合計画に市民の意見を反映する主な手段は、基礎調査の段階での市民意識調査と、基本構想(案)・基本計画(案)のパブリックコメント(意見募集)だった。そして、出来上がった計画の実現は、行政が担保していた。今回の総合計画は、行政だけの計画ではなく、市民とともにまちづくりを進めるための計画となる。そのために、計画策定のあらゆる段階で市民の意見を聞く。その1つが、このまちづくり市民会議である。出来上がった計画の実現についても、市民がその役割の一部を担うことになる。
- ・総合計画は、行政の視点で、主に分野別に施策を体系化していたが、今回は、市民の視点から施策を体系化していく。このため、一つの視点の中に複数の分野が含まれることも出てくるだろう。
- ・「奈良市まちづくり市民会議設置要項」第4条に基づき、代表・副代表を互選により定めることになるが、数回会議を重ねて、お互いを知り合った後で構わない。
- ・市民会議は平成22年3月までに、全8回、開催する。

【質疑応答・意見交換の概要】 <質疑応答・意見交換の概要> 参照。

4. 会議のルールについて（グループワーク）

○ファシリテーターが進行。

○メインファシリテーター（西上）から、グループワークの進め方・留意点等について説明。

【説明の概要】

- ・グループ内で「名前」「職業（取り組んでいること）」「特技・趣味」「今の気持ち」を自己紹介し、お互いを知り合う。
- ・話し合いをするときの基本的な心構えについて説明。
◆心構え「LOVE（愛）の気持ちをもって会議に参加しよう！」
L…LISTEN みんなの話に耳を傾けよう！
O…OPEN お互いの心を開こう！
V…VOICE ささいなことも声に出そう！
E…ENJOY この場を楽しもう！
- ・「LOVE（愛）の気持ちをもって会議に参加しよう！」に付け加えた方がよい心構えやルールを、グループごとに話し合う。

【グループワーク】

- ・出席者が会議開始時に着席した場所ごとに、6つのグループを構成。
- ・グループにわかれて、自己紹介の後、会議のルールについて話し合い。

- ・グループ毎に話し合いの結果を発表 ⇒ <グループワークの記録>参照。
- ・グループワークの結果をもとに、事務局が次回までに「話し合いのルール(案)」をまとめる。

5. 奈良市の現況について

○企画政策課 木村主任より「奈良市の現況（中核市41都市比較）」について説明。

「奈良市まちづくり市民会議（第1回）市の現況についての質問票」を配布。

【説明の概要】

- ・少子化が進行している。合計特殊出生率も全国的にみてかなり低い値となっている。
- ・社会動態はマイナス傾向で人口減少が続いている。奈良市は、中核市のなかでも減少している方だ。
- ・「奈良市の現況（中核市41都市比較）」をみると、多くの指標が、中核市のなかで平均以下の水準となっている。
- ・奈良市が現在行っている施策は、奈良市の現況（冊子）を参照してほしい。
- ・必要な資料・データがあれば、「奈良市まちづくり市民会議（第1回）市の現況についての質問票」に必要事項を記入して、10月16日までに、ファクシミリ・電子メール・郵送のいずれかの方法で、事務局に提出してほしい。

6. 今後の会議の進め方について

○メインファシリテーター（西上）より、会議の進め方について説明。

○「奈良市の「魅力」と「悩み」は何ですか？（「魅力」と「悩み」整理シート）」を配布。

【説明の概要】

- ・全体の流れとしては、まず「魅力・悩み（良いところ・悪いところ）」を出し、それをグループ化して設定されたテーマに基づき、分科会をつくる。次に分科会毎に市の将来像をつくりあげる。できれば、最後に市全体のキャッチコピーも考えたい。
- ・次回までに、各自「奈良市の「魅力」と「悩み」は何ですか？（「魅力」と「悩み」整理シート）」を記入してくる。
 次回は、グループにわかれて、「奈良市の「魅力」と「悩み」は何ですか？（「魅力」と「悩み」整理シート）」を参考にしながら、奈良市の「魅力・悩み（良いところ・悪いところ）」を話し合う。

【質疑応答・意見交換の概要】 <質疑応答・意見交換の概要> 参照。

会議閉会にあたって

○司会より、「奈良市の「魅力」と「悩み」は何ですか？（「魅力」と「悩み」整理シート）」について追加説明と、次回の開催概要の告知。

【説明内容】

- ・「魅力」については、魅力、優れているところ、伸ばすべきところと捉えてほしい。
- ・「悩み」については、直すべきところ、改善すべきところと捉えてほしい。

【次回開催予定】

- ・日時：平成21年11月6日（金）午後7時～
- ・場所：奈良市役所 中央棟6階 正庁

＜質疑応答・意見交換の概要＞

※グループワーク以外のときに出た質問・意見の概要を意見内容ごとに分類して整理。
※会議の場で事務局が回答した概要もあわせて記録。
(会議の場で事務局が回答しなかったものは、後ほど回答するものがある。)

(1) 市民会議の役割・成果について

- ・市民会議の位置づけや役割を明確にしてほしい。
- ・私達の意見がどの程度、計画に反映されるのか。
- ・私達は要望を出すだけなのか、それとも計画という形をつくっていくのか。
- ・要項では、「市民会議は、総合計画の基本構想策定に係る奈良市の将来都市像、今後のまちづくりの基本的方向等について議論し、市長に報告する。」と書かれている。今日の参加者の中には、市民会議で、総合計画をつくと誤解している人がいる。市長が、最初の挨拶で、この会議で計画のようなものをつくると言ったからだと思う。

⇒【回答】市民会議での話し合いの結果は、第4次総合計画の土台となる。(市長)
奈良市の将来像についてご意見を賜りたい。(企画部長)

- ・次回の会議の初めに、8回の会議でどのような成果を出すのかを明確にし、皆で確認してはどうか。(最終目標は、キャッチコピーを考えるとどこまでか？ もう少し具体的な内容を基本方針に盛り込むまでか？)
- ・最終目標が、キャッチコピーをつくることでは、とても情けない。私達の意見を、行政の計画にしっかりと反映させていただきたい。

⇒【回答】市民にとってわかりやすいテーマづくりと、できればその導入部分を整理したい。(ファシリテーター)

- ・要項の規則の2号「この要項は、第2条に規定による報告が行われた日限り、その効力を失う。」では、我々は意見を言って、後はほったらかしと受け止めてしまう。我々は計画ができるまで見届けたいので、この部分は変更してほしい。

⇒【回答】検討したい。(市長)

(2) 計画の策定過程・策定体制について

- ・今回の総合計画は、どのような組織で検討を進めていくのか。
- ・学識経験者などが参加する別の会議があるのか。

⇒【回答】奈良市の職員で構成されている総合計画策定のための庁内の策定委員会、各種団体・機関代表者、学識経験者も交えた総合計画審議会にも投げかけていく。(企画部長)

- ・同じ学識経験者が様々な審議会に参加するような人選は、良くない。
- ・審議会で、我々の案が骨抜きにされないようにしてほしい。
- ・市議会との関係はどうなるのか。
- ・私達が様々な提案をしても、計画を決めるのが市議員や市長であるならば、市議員が駄目と言えど駄目になってしまうのか。
- ・市民会議は、話し合っただけで将来都市像をつくること、従来の方法と異なるだけで、その後の計画の策定過程や決定方法は、従来と全く変わらないのか。

⇒【回答】仕組み上、市議会には、総合計画案をかけなければならない。

今までは、コンサルタントが計画案を作成した後に、市民から意見を聞いていたが、今回はより早い段階から、一緒に議論しながらつくっていく。市民会議での話し合った結果が土台となって、庁内の会議で、所管課とも調整を

とりながら、行政の施策に落とし込んでいきたい。(市長)

- ・我々は意見を言い、その後、策定委員会や総合計画審議会で検討していただければよい。

(3) 会議の運営について

- ・出席者数を報告してほしい。⇒【対応】司会より48名の出席を報告。
- ・コーディネーターの紹介が全くなかった。
- ・市長あるいは市役所と市民が、直接話し合える場になるのではないかと期待して出席したが、間に業者が入って会議を進めている。
⇒【回答】皆さんの思いをうまく集約していただく作業をお願いしている。(企画部長)
- ・会議は、議長が進行しなければ、時間もかかるし、余分な作業をしているような気がする。
⇒【回答】様々な人々が集まって、煮詰まった議論を進めていくので、まずはお互いの胸襟を開いて人間関係をつくり、忌憚のない意見を出せるような雰囲気をつくることも、とても大切だ。(市長)
- ・全体会議と分科会にわけてほしい。
- ・各会議の進め方や8回の会議の流れがわかりづらい。
- ・意見を言い放しにするのではなく、記録にまとめて、次の会議で配るべきだ。
- ・会議の前までに意見を締め切って、事務局が意見を整理したうえで、会議にのぞまないと、発言だけで会議が終わってしまう。
- ・今日グループごとで話し合った、話し合いのルールは、我々にとっては常識のレベルだ。
- ・このような方法で、8回で奈良市の将来都市像をつくりあげることができるのか。
- ・ファシリテーターの提案した進行にした方がよいと思う。
- ・皆の意思次第で、ルールを守れば、8回で終わると思う。

(4) 各会議へ参加について

- ・審議会に、市民会議の意見を反映させるためにも、審議会の代表が市民会議に参加できるようにしてほしい。
- ・審議会へ、代表・副代表が参加できるようにしてほしい。

(5) グループ分けについて

- ・今日のグループは恒常的なものなのか、今日だけのものか。
⇒【回答】今日は、自由に着席していただいた。議論が進むに従い、議論のテーマ、内容も具体化し、それに即したグループ分けになっていくと思う。(企画部長)
- ・今後、グループ分けは、参加者が得意なテーマに分類していくのか。
- ・最初から、小論文の分野別に沿ってグループをわけて、話し合う方がよい。
- ・最初の小論文を出す際、どのテーマにも興味があり、テーマを選ぶのを悩んだ。
同じ奈良市民でも、今日、初めて会った方がほとんどなので、その方達と理解しあわないと、話し合いは成立しないと思うし、理解しあったうえで、それぞれが興味のあるテーマを選んでいく方が、この場で合意も得られて自然だと思う。
- ・応募時の小論文とグループ分けは、別と考える方がよい。
⇒【回答】小論文に即した形でグループ分けをする方法もあるし、議論のなかから出てきたテーマに沿ってグループ分けをするという方法も提案したい。(企画部長)

(6) 会場の環境について

- ・少人数のグループが部屋ごとにわかれて、静かに話し合いができるようにしてほしい。

(7) 配布資料について

- ・資料は一目でわかるように、グラフや図版を増やしてほしい。

(8) 小論文の取り扱いについて

- ・私達が最初に出した小論文を、一体どのように取り扱うのか。
- ・小論文の内容は、今後の会議で、発言していいかどうか。
- ・最初に小論文を出したが、これを冊子に収録して配布しないのか。
- ・皆が真剣に考えて小論文を書いたので、冊子にして配り、それぞれが手元に置いて、互いの考えを確認しながら、意見を伺うことが大切だと思う。
- ・冊子は、各委員が書いた小論文とその上に市のコメントがあれば、一番よい。
- ・小論文は、市が、公募してくる人はどの程度真剣に考えてくれるのかを判断するためのものだ。小論文を冊子にして配布することを嫌がる人もいると思う。
- ・応募時の小論文は、応募のために限られた字数の中で書いたものだ。必要があれば、自分の関心のあるテーマについて、どのように考えているか、次回までに、もう一度書きだせばよい。テーマについても、今回は制限がないので、様々な分野にわたって書くことができる。

⇒【回答】応募時の小論文について、冊子に掲載・配布することを希望するか、希望しないかを、事務局に直接伝えるか、質問票に書いて提出してほしい。(市長)

(9) 宿題「奈良市の魅力と悩み」について

- ・「奈良市の悩み」という表現はおかしい。奈良市の悩みを、我々が書くのはおかしい。
「奈良市に対しての提案や、構想に対する提案、魅力と提言等に表現を変更した方がよい。」
- ・自分が応募時に書いた小論文の内容を、この用紙に書けばよい

(10) 現況説明等について

- ・行政は、次回の会議で、現況分析した結果を説明してほしい。

⇒【回答】今回は簡潔にまとめた現況資料を配布した。全ての資料を出すと非常に膨大な量になるし、皆さんの声をお聞きして、皆さんの関心のあるテーマに応じた資料を提供したいと思った。必要な資料・情報の要望があれば、次回以降の会議で説明したい。(市長)

<グループワークの記録> ※各グループでの話し合いの結果の概要

【参加者】
 委員：岡本 胤継、熊野 磯一、佐藤 正幸、四反田 喬典、田北 ますみ、
 谷 幸三、村田 勝彦、吉田 俊夫、
 ファシリテーター：醍醐 孝典

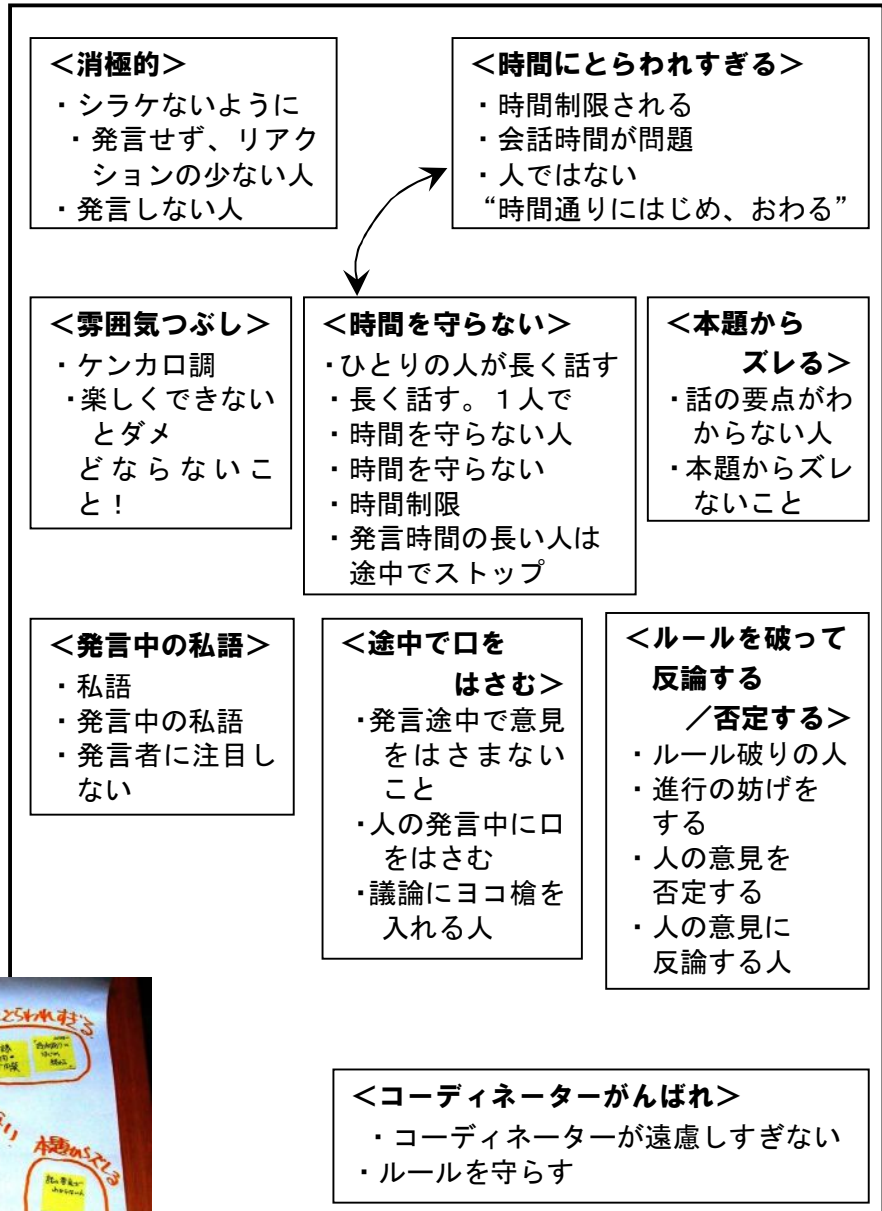
会議にこんな人がいては困る

<p><事前にテーマがはっきりしない会議></p> <ul style="list-style-type: none"> ・討議テーマを決めない話し合い ・話があちこちにとんでしまう ・ポイント重視 	<p><テーマと関係ない話></p> <ul style="list-style-type: none"> ・テーマがそれる ・テーマ以外を長くはなす（関連はOK） ・前おき長い 	<p><私語をする></p> <ul style="list-style-type: none"> ・私語 	<p><相手の意見を批判する></p> <ul style="list-style-type: none"> ・否定しない ・批判をしない ・けなす ・受けとめる♡
<p><進行役に従わない・進行が下手なもの困る！></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ファシリテーターの進行に従う ・ファシリテーターがまずい 	<p><自分の意見を一方的に言う></p> <ul style="list-style-type: none"> ・一方的に自分の意見だけをいう人 	<p><時間を守らない></p> <ul style="list-style-type: none"> ・時間を守る ・しゃべる ・時間を守らない人 	<p><明るくない、笑顔がない></p> <ul style="list-style-type: none"> ・話しは明るく ・笑顔 ・聞く姿勢 ・笑心
<p><発言を無理強いする人></p> <ul style="list-style-type: none"> ・発言は全員で 但し意見をパスすることもできるように 	<p><発言時間が明確でない></p> <ul style="list-style-type: none"> ・発言時間わかりづらいので困る →ファシリテーター 鈴 10 秒前に押す 	<p><発言が聞こえにくい></p> <ul style="list-style-type: none"> ・声が小さい ・小さな声 ・大きな声で簡潔にしゃべらない人 ・早口 ・何をいっているのかわからない人 ・何を言いたいのかよくわからない ・主張をはっきり 	



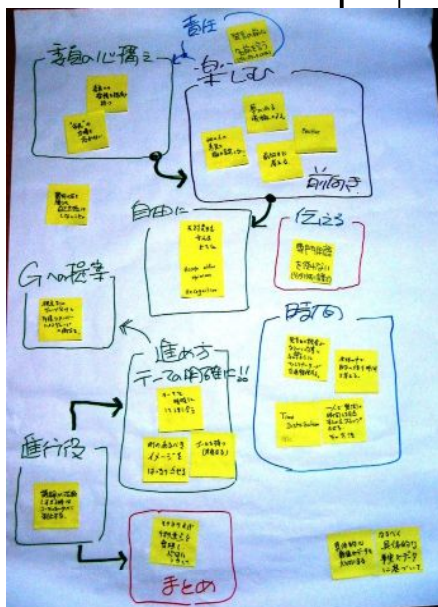
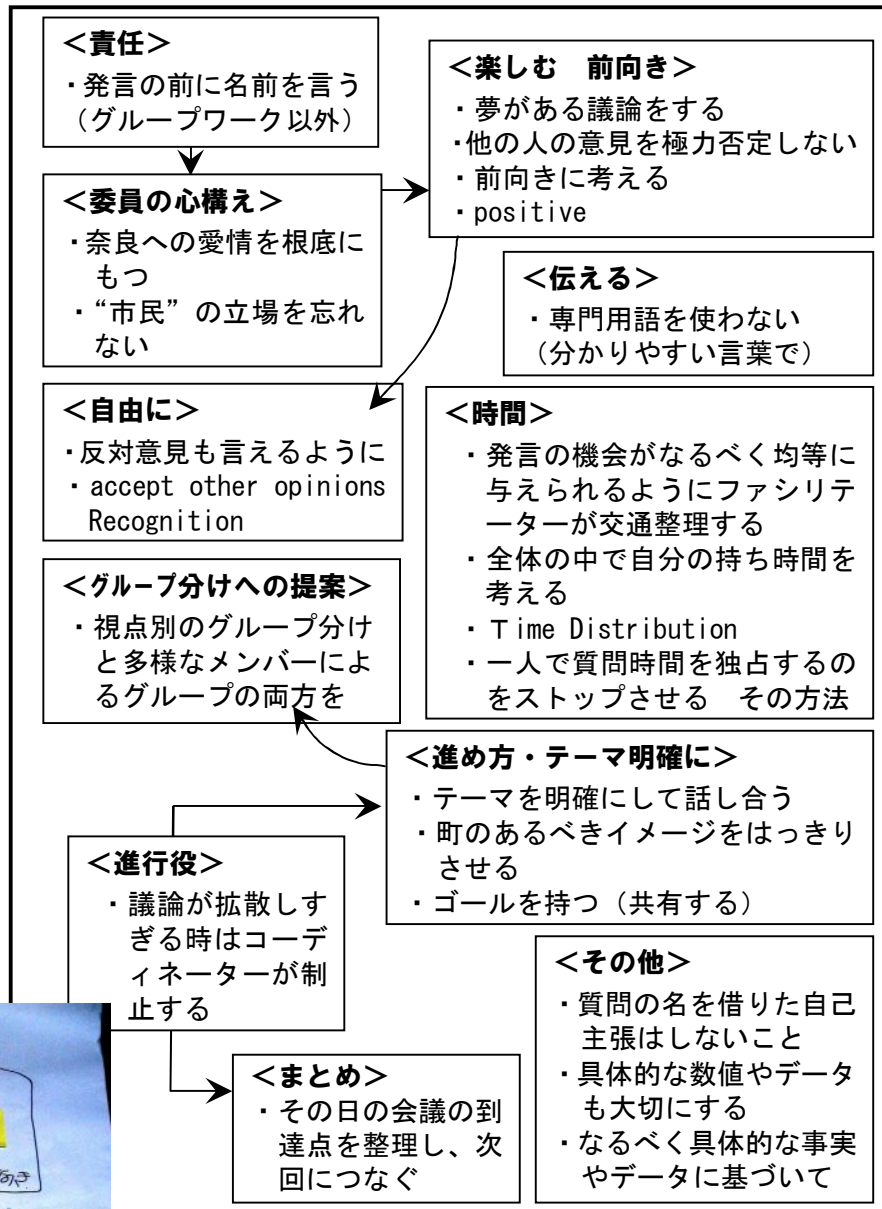
【参加者】

委員：奥村 麻希子、北浦 由香、澤崎 嘉造、武村 俊宏、田中 浩、
友田 達郎、橋本 光男、元島 満義、
ファシリテーター：山崎 亮



【参加者】

委員：アダルシュ シヤルマ、阿部 智子、笹部 和男、高松 典正、
濱 朝子、濱 恵介、森口 哲也、山本 善徳
ファシリテーター：六本木 晃夫



【参加者】

委員：植田 正博、榎本 正範、小島 道子、サマン ペレラ、新堂 順規、
田中 保夫、中川 徹、 本間 香貴、
ファシリテーター：西上 ありさ

会議のルール

<建設的な話し合いをしよう！>

- ・発言が論理的であること
- ・筋を通す プレない
- ・進行役の指示に従う

<前向きな話し合いをしよう！>

- ・否定ではなしに積極的提案をしよう
- ・夢を持って話す
- ・理解する力
- ・批判のみの話はしない
前向きに進んでいける議論をしたい
- ・できるだけ、前に進む話を
- ・市民会議後にブツブツ言わない

<議論を深めるときは

徹底的！>

- ・議論は徹底してやる！
- ・発言に責任を持つ
(発言の際、氏名を名乗ること)
- ・発言する内容については、少なくともポイントはメモ書きをして発言を！

<1人で話すぎない！

(1分目標に)>

- ・発言時間1分間厳守
延びるときはカンタンに場に伝える
- ・発言目標は一人一分
- ・発言目標一分以内

<予習(?)共有して来る！>

- ・この場の議論の位置づけを明確に・・・
- ・話し合うテーマの資料はキチッと読んでから会議に来る

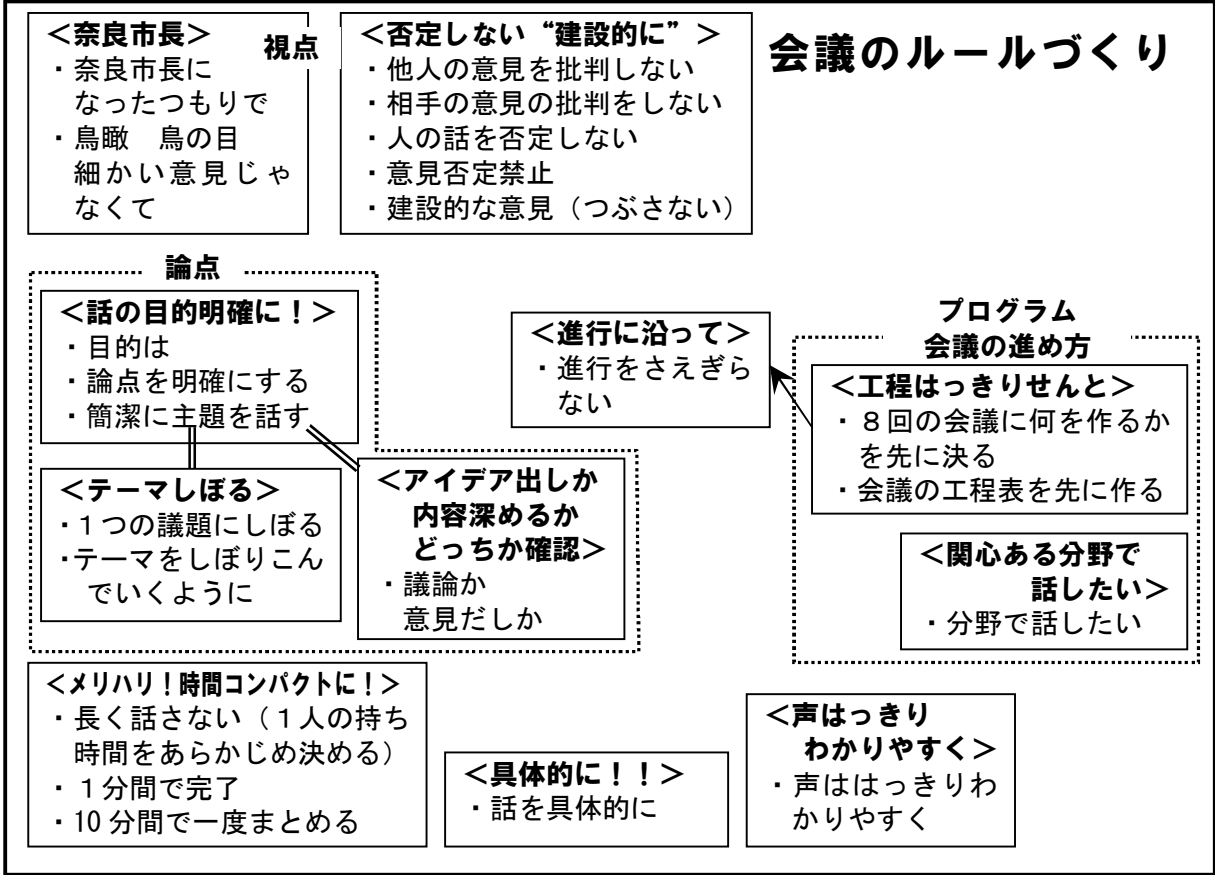
<休けいも必要>

- ・120分の会議にブレイクタイムが5分は欲しい



【参加者】

委員：赤尾 隆、北 良夫、小西 完治、中西 輝、松森 重博、
宮本 郁江、山本 素世、渡邊 新一、
ファシリテーター：桐山 法子



【参加者】

委員：上野 登統、木村 宥子、多田 充朗、反田 博俊、長谷川 庸司、
 畑中 忠司、春田 稔、吉住 秀、
 ファシリテーター：岡田 実成

その他

会議のルール

<目標 奈良とは>

- ・奈良のまちをまちらしく
- ・明るい奈良（後向きじゃない）
- ・神社仏閣だけじゃない奈良の魅力の創造を
- ・夢・希望・絆・平和

<目標 デカイ>

- ・市政マネージメントを正常にすること

<今後の進め方>

- ・役所は出来ないことを先ず出してください。作定した後に「行政の方では・・・」と云われるのでは、話し合う必要はないです
- ・コーディネーターは出来るだけ余計なことは云わないで 読ませるなど失礼では？
- ・早く本質的な議論に入るべき
- ・第3次までの評価なし
- ・会議に若者を

<進め方 基本>

- ・発言は平等になるように
- ・他人の意見を尊重する
- ・大きな声で発言する
- ・明るく元気な会合にしたい

<時間を大切に>

- ・時間を決める（発言・議論）
- ・1人分の時間を決める
- ・思い切ってあきらめる
- ・結論が出ない
- ・会議全体の時間の割りふりを事前に示す（予定でよい）
- ・テーマをはっきりする

<議論の方向>

